

意見検討結果一覧表

（案名： 第3期岩手県耐震改修促進計画（案）についての意見募集）

番 号	意 見	検討結果（県の考え方）	決定への 反映状況
1	耐震改修が事実上進まない最大の原因は、改修費用を「全額補助、個人負担ゼロ」にしていない事である。建物所有者、使用者の負担をゼロにして全額公費で改修工事を実施しない限り、どのような案を立てても無駄に終わるであろう。岩手県の決意と覚悟が求められている。負担を民間と個人においてゼロにしない限り、耐震改修は不可能だ。また、使用者に改修の権利があるとしないう限り、様々な所有権が重なり合っている建物の耐震改修はできない。そして、「空き家は岩手県の全責任で全戸耐震改修を公費で実施する」と明確に示すべきである。	住宅・建築物の耐震化促進は、住宅・建築物の所有者等と行政が、地域防災対策の共通の課題として取り組むことが不可欠と考えております。 国、県及び市町村は、所有者等の取組をできる限り支援するといった観点から、所有者等にとって耐震診断及び耐震改修を行いやすい環境の整備や負担軽減のための補助の実施等に取り組んでいます。 県は、市町村が事業主体となって木造住宅の耐震改修等に補助を行う場合、要する経費の助成をしています。耐震改修が進まない要因として費用に対する負担感等は課題と考えておりますので、リフォームや設備更新の機会に併せた効率的な耐震改修などを提案しながら、耐震化への支援を行ってまいります。	D（参考）

備考1 「類似意見件数」欄については、類似の意見をまとめて公表するときに当該類似の意見の件数の記入に用いるものとし、それ以外の場合は削除するものとします。

2 「決定への反映状況」欄には、次に掲げる区分を記載するものとします。

区 分	内 容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）

- 3 意見（類似の意見をまとめたものを含む。）数に応じて、適宜欄を追加して差し支えありません。
- 4 計画等の案の項目区分に応じて、適宜表を分割して差し支えありません。